

『安全・安心な高品質トマト生産をめざして』

< 高付加価値化による産地強化の取組み >

【産地名 JAとぴあ浜松のトマト（静岡県）】



産地データ（H14年）

対象品目名	トマト
産地の名称	JAとぴあ浜松のトマト
作付面積	17.5ha
主要作付品種	桃太郎
作付農家戸数	67戸
出荷(販売)量	1,470t/年間
販売額	300百万円/年間
出荷(販売)先	京浜(多摩市場) 県内(静岡市場)

1. 産地の概要と特徴及び課題

とぴあ浜松農協は、静岡県西部の浜名湖周辺の3市5町（浜松市、浜北市、湖西市、舞阪町、新居町、雄踏町、細江町、引佐町）にまたがる広域地域で、温暖な気候と恵まれた立地条件を活かした多彩な農業が展開され、特色ある農産物が東京や京阪神市場中心に出荷されています。農産物取扱高は251億円で、そのうち野菜類は40%を占めています。

当産地は古くから冬トマトの栽培が盛んであり、当初はファーストトマトを生産していましたが、平成3年より丸玉系品種に切り替わりました。

現在トマトは栽培面積17.5ha、生産額3億円であり、作型は抑制+メロン、半促成+セルリーが中心です。近年は高齢化の進展や黄化葉巻病の発生等の問題をかかえ産地の強化が必要となってきています。

対象品目の作型（生育ステージ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
作業								×	×				冬
		×	×										春
	播種			定植			収穫		(最盛)	×	×		

2. 産地改革計画の概要

策定対象品目名	トマト	該町当村	浜松市、雄踏町、
策定年月	平成14年8月5日 (変更：平成15年4月15日・平成16年6月30日)	市名	細江町、引佐町
策定主体名	とぴあ浜松農業協同組合		

(1) 計画の全体概要（要旨）

消費者の安全・安心に対する意識が高まる中、産地では連続する異常気象や黄化葉

巻病等の難防除病害が発生し生産が不安定になりつつありました。このような中で、消費者に信頼される産地として発展していくため、安全・安心の取り組みを進めるとともに、高糖度トマト等の導入による高付加価値化を推進し、さらには生産の安定と規模拡大によるコスト削減にも取り組むこととしました。

高付加価値化タイプの取り組みとして安全・安心なトマト生産のための防虫ネット設置や栽培履歴の作成、高糖度トマト等の新たな品種への取り組みを推進し、低コスト化タイプとしては低コスト耐候性ハウスの導入による規模拡大と省力化が可能な自動装置の導入に取り組むこととしました。

(2) 具体的な目標

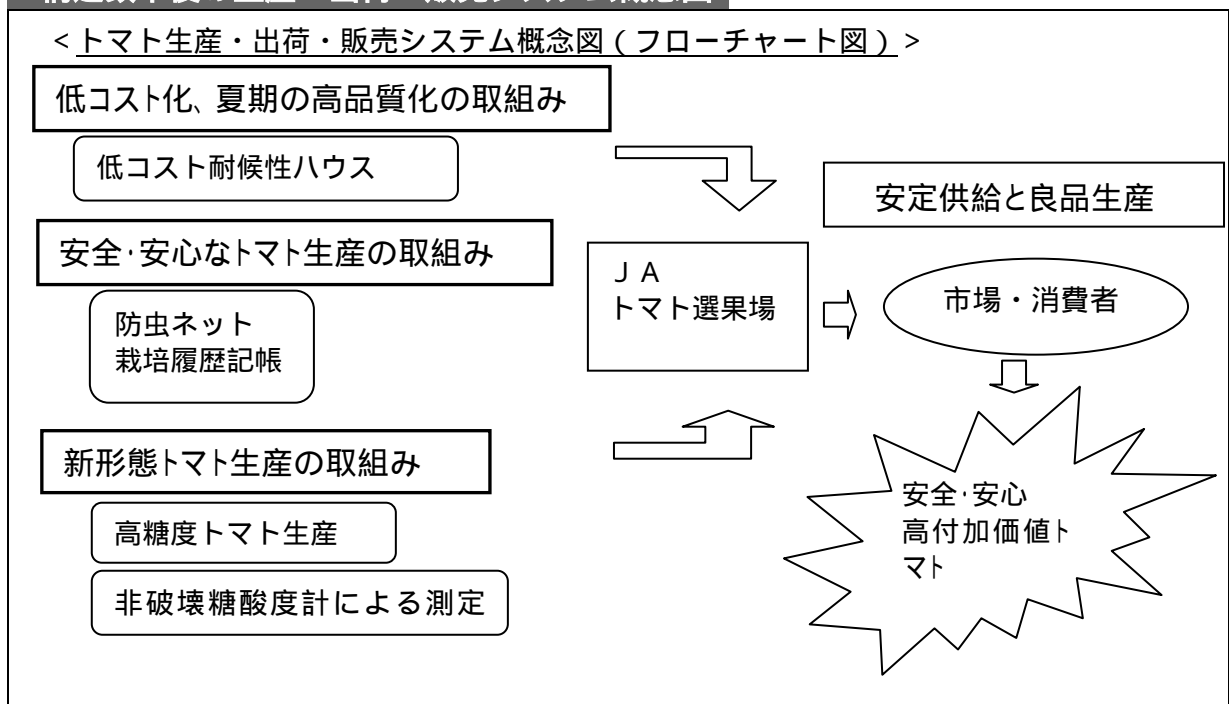
高付加価値化タイプ	安心安全なトマト生産		
	防虫ネット設置面積	0 ha	6.5ha
	高糖度トマト生産	0 ha	1.5ha
	高温対策用ハウスの導入	0 ha	1.3ha
低コスト化タイプ	生産規模拡大	17.5ha	20.3ha

3. 産地改革計画の実行状況とその成果

計画策定1年目より生産者全員67戸で生産履歴記帳を実行し安全・安心への取り組みを始めました。農薬を減らす取り組みとして、ラノーテープやより効果の高い防虫ネットを設置し、散布回数や害虫被害を軽減させることができました。また、これら取り組みにより、生産者自身の安全・安心に対する意識もたいへん高くなってきました。

さらに、夏期の高品質生産を目指して、8名の生産者が高軒高の低コスト耐候性ハウス12棟(11,146㎡)を導入しました。このうち3名は当産地では初めての試みとなる養液栽培による高糖度トマト生産をスタートさせ、非破壊糖酸度計による選別出荷の実施と併せ、消費者ニーズにあった高品質、高付加価値トマト生産に取り組んでいます。

構造改革後の生産・出荷・販売システム概念図



産地改革に係る補助事業等の実施状況（平成14年度以降）

国庫補助事業

年度	事業名	事業主体名	事業内容	事業費 (百万円)	国庫補助金 (百万円)
14	輸入急増農産物対応 特別対策事業	とぴあ浜松農 業協同組合	推進事業	0.55	0.25
	野菜構造改革促進特 別対策事業		需要拡大のための活動 ・栽培履歴冊子作成 ・店舗用履歴ポップ作成資材	1.4	0.67
15	輸入急増農産物対応 特別対策事業	とぴあ浜松農 業協同組合	推進事業 低コスト耐候性ハウス及び付 帯施設整備 12棟11,146㎡ 非破壊糖酸度測定装置 1台	0.33 143	0.15 68
	野菜構造改革促進特 別対策事業		マイナー作物農薬安全性確認	16	7.7

関連事業（取組等）

年度	事業（取組）名	事業主体名	事業（取組）内容	事業費 (百万円)	うち補助金 (百万円)

4. 今後の課題とその取組方向

ここ3年間の産地改革への取組みにより、高付加価値化においては一定の成果は上がってきましたが、一方で、当産地においては生産者の高齢化や担い手不足が進んできています。

生産体制の面では、新規の担い手が参入しやすいような研修体制等を整備するとともに、現在の生産者において規模拡大志向のあるものに対して集中的な支援により経営見直しを図り生産力を強化していきます。さらには大規模な担い手農家を育成するために、低コスト耐候性ハウス導入による自動・省力化を進め、低コスト生産の定着を図っていきます。

高付加価値化の面では、難防除病害であるトマト黄化葉巻病対策として害虫の発生予察による的確な防除を実施するとともに、これまで実施してきた防虫ネット等の活用による農薬散布回数低減や生産履歴の記帳に引き続き取組み、安全・安心なトマト生産を推進します。また、新たにスタートした高糖度トマトのブランド化へ向けて、生産の拡大や消費PR、販売対策活動を重点的に実施します。

今後は引き続き消費者に信頼される産地として、安定供給と良品生産を確保し生産性が高く効率的な生産が可能な産地となるよう活動を展開していきます。

【特記事項】

--

産地改革・取組フォト



生産者による定期的なほ場巡回



生産者全員で取り組んでいる生産履歴記帳



防虫ネットや非接触性防除資材を活用し農薬散布回数削減を図る



高付加価値トマト生産の取組みとしてスタートした高糖度トマト

<県・問い合わせ先>

静岡県 西部農林事務所 生産振興部 産地育成課

担当係名(氏名) ...曾根克巳

住所：浜松市東田町 8 7

TEL：0 5 3 - 4 5 8 - 7 2 1 5

<農協・問い合わせ先>

J A とぴあ浜松農協 営農販売課

担当係名(氏名) ...村越英雄

住所：浜松市有玉南町 1 9 7 5

TEL：0 5 3 - 4 7 6 - 3 1 3 6